

# 事務職員向け勉強会 FY2023

## Session 4 「研究事務支援」

July 6<sup>th</sup>, 2023 Mizuki Shimanuki Office of the Provost



OIST



C-HUB

Center for  
Professional Development  
& Inclusive Excellence

OKINAWA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY GRADUATE UNIVERSITY

沖縄科学技術大学院大学



## セッション4 「研究事務支援」

補足 研究倫理・研究安全の各種諮問委員会の事務局

バイオセーフティ、動物実験、人対象研究、放射線安全、野外活動安全、レーザー安全、

0 URA (university research administrator) 研究者と事務方の間、第三の職

1 外部資金 (競争的研究資金) Grants Section

外部資金はどこから来るか 外部資金獲得の支援 外部資金執行の支援、外部資金に関連する連携

2 研究連携 Office of the Dean of Research

共同研究 (対アカデミア=大学・公的研究機関)

3 技術移転・事業開発 TDIC/OIST Innovation

特許・技術移転 起業支援 産業への貢献

+4 部署横断的調整と非ルーチンの発生するプロジェクト Office of the Provost

## 研究活動にかかる制約と不正 — 安全と倫理

本勉強会、第1回で  
こんな話をしましたが、、、

研究活動を実施する前に、研究計画について関連する委員会（外部の有識者含む）の審査により、安全面や倫理面の問題がないかどうか、チェックを受ける必要がある

（研究対象、実施規模、期間、場所、機材、手法や手順、実施者の資格、など）

法律や規定に則しているか、

また、決まり事が無くても、安全や福祉や倫理を脅かさないか

最先端の挑戦には、決して法律が先回りしてはいない

### 研究に従事する人および周囲の人の安全

各種の安全委員会（放射線、レーザー、バイオセーフティ、化学物質、野外活動、など）

### 研究対象および環境に対する福祉と倫理

各種の倫理委員会（ヒト対象研究、動物実験、環境保全と生物多様性の保護、など）



## 補足 研究倫理・研究安全の各種諮問委員会の事務局

バイオセーフティ委員会： 事務局 OHS (安全衛生セクション)	遺伝子組換え、病原体、毒素、微生物、を扱う実験計画の審査。 目的：研究従事者の安全確保。環境の保全。
動物実験委員会： 事務局 ARS (実験動物セクション)	脊椎動物および頭足類を用いる動物実験計画の審査。 目的：動物の倫理的な取り扱い。動物愛護。
人対象研究倫理委員会： 事務局 OHS	人や人の活動の試料やデータを扱う研究計画の審査。 目的：人の尊厳、権利の保護。個人情報保護。
放射線安全委員会： 事務局 OHS	放射性同位元素使用計画、X線装置使用計画の審査。 目的：研究従事者の安全確保。環境の保全。
野外活動安全委員会： 事務局 OHS	海および陸地での野外活動計画の審査。 目的：野外活動従事者の安全確保。
レーザー安全諮問委員会： 事務局 OHS	高クラスレーザー機器の設置方法や使用手順のアドバイス。 目的：研究従事者の安全確保。

委員会ごとに委員の条件が規定される

動物実験委員会の例

動物実験に関して優れた識見を有する者  
実験動物に関して優れた識見を有する者  
その他学識経験を有する者



## 0 URA (university research administrator) 研究者と事務方の間、第三の職

### 一般社団法人リサーチ・アドミニストレーション協議会 <https://www.rman.jp/ura/>

URAとは、大学などの研究組織において研究者および事務職員とともに、研究資源の導入促進、研究活動の企画・マネジメント、研究成果の活用促進を行って、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化を支える業務に従事する人材のことです。リサーチ・アドミニストレーターは、RAと略されたりしますが（海外では特に）、本サイトでは、RA = Research Assistantとの混同を避けるため、URA・RAを総称して"URA"と呼ぶことにいたします。サーバントリーダーとしての役割を担った、大学等における第三の教職員とも呼ばれている新しい仕事です。

研究分野や研究内容、研究者の活動、研究関連の政策、国内外の大学や研究機関の情勢、などについての理解と知識を持ち、研究者に寄り添い、機関執行部や事務局と連携しつつ、研究活動の発展を支援する。

- 競争的外部研究資金獲得の支援
- 大学や研究機関同士の連携の企画や活動
- 国の施策や国内外の情勢に応じた大学・研究機関の戦略策定と実行
- 研究行政の施策への働きかけ
- 研究成果に関連する特許の取得の支援（知財の管理）
- 研究成果から生まれた知財の産業への実装（技術移転）の支援
- 産学官連携の支援や企画

\* OISTのRUA (research unit administrator) とは異なります。RUAは他大学の研究室秘書とか研究室事務、等に相当。



# 1 外部資金（競争的研究資金） Grants Section

外部研究資金（競争的研究資金）：国の省庁、それらから委託を受けた資金配分団体、民間団体、などが、特定の研究分野や特定のプロジェクトを設定して、研究者からの研究計画提案の公募を行い、有識者による公平な（競争的な）審査により高く評価された研究計画を採択して、そこに研究資金を配分する。

ボトムアップ型の募集とトップダウン型の募集がある。<https://news.mynavi.jp/techplus/series/researchfund/>

研究者にとっての外部資金の意味：所属機関から直接配分される研究予算で足りない資金を補い、機器の購入や人の雇用や試薬・消耗品代や旅費などに充てて、研究活動を拡大展開することができる。また、競争的研究資金の獲得は、研究論文の発表と並び研究者の評価の上で重要な実績とみなされる。

大学・研究機関としての外部資金の意味：運営費だけで賄えない研究活動を可能にできる。機関に所属する研究者が多くの競争的研究資金を獲得している＝優れた研究者をたくさん抱えている＝優れた研究機関である、という評価

外部研究資金に関して、どんな手助けをするか

情報収集と提供。 資金提供団体へのプロジェクト公募の提案。 応募への支援。 外部研究資金応募に関連した共同研究連携の支援。 獲得した外部資金執行の支援。 資金提供団体への報告の支援。

OIST外部研究資金セクション <https://groups.oist.jp/srs>



## 2 研究連携 Office of the Dean of Research

研究機関間の連携（対アカデミア＝大学・公的研究機関）

大型外部研究資金への応募のための学内連携の調整

研究ユニット、コアファシリティ、OIST Innovationを含む

研究担当ディーンオフィス <https://groups.oist.jp/odr>

\*研究連携合意文書、共同研究契約書、MTA (material transfer agreement、研究材料の譲渡に際して交わす約束事を記した文書) などの作成・締結の事務は、プロボストオフィスの「研究契約チーム」が担当



### 3 技術移転・事業開発

### TDIC 改め OIST Innovation

知財の管理、特許・技術移転

実用化に繋げる。POC (proof of concept) 支援プログラム

産学連携

企業との共同研究の仲介

起業支援

Incubation Centerの運営

産業への貢献

技術開発イノベーションセンターTDIC / OIST Innovation <https://groups.oist.jp/innovation>



## + 4 研究・学務の総合調整 Office of the Provost

研究予算の配分と管理、研究リソースの配分と管理、研究関連の契約締結

他に、部署横断的調整と非ルーチン的に発生するプロジェクト多数、その例

- Sea-NeXus担当の漁協・瀬良垣区への連絡・調整
- 量子技術イノベーション拠点立ち上げ連絡窓口
- 魚類飼育システム調達のプロジェクトコーディネーター
- 野外活動事故調査、事故捜査に関する海保・海難審判庁との連絡窓口
- 研究安全基金の委員兼事務局
- フィリピン人雇用に関する事務手続き開拓
- 退職職員との共同研究契約の管理
- 他機関のベンチマーク対応
- はしかタスクフォース、COVID-19タスクフォース
- HEARTシステム導入プロジェクトメンバー（提案審査評価委員含む）、等々、、、
  - 文部科学省の研究施設共用化促進事業「研究用MRI共有プラットフォーム」への参画
  - 生命科学関連の顕微鏡技術提携に関する国際連携Global Bioimagingへの参加
  - 沖縄県内の連携「おきなわオープンファシリティネットワーク」への参加
  - コアファシリティ整備促進に寄与する「研究基盤協議会」に参加
  - 研究ユニット技術員とコアファシリティ技術職員のキャリアパス改善の学内委員会
  - 内閣府OIST推進室に対する研究活動の基本的知識の提供（この講義）、予算要求時の専門的事項の補足説明
  - 政府機関や学術研究機関からのVIPゲストへ、OIST研究施設案内と研究支援体制の説明（年間約30件）
  - OISTサイエンスフェスタ、こどもかがく教室、高校生対象しごとミュージアム等、アウトリーチ参画
  - 研究安全・倫理委員会等のモニタリングを通じ、部署横断的な体制整備、改善、調整、等々、、、